

高松道 4 車線化に関する県内企業の意識調査

—回答企業の 6 割以上が観光客数の増加を予想—

一般財団法人百十四経済研究所は、高松道 4 車線化による経済活動へのインパクトを把握するため、香川県内企業にアンケート調査を 2018 年 12 月に実施し、306 社から回答を得た。

【調査の概要】

調査時期：2018 年 12 月 7 日～28 日

調査方法：郵送によるアンケート方式

調査対象：香川県内に本社または主工場をもつ企業：630 社

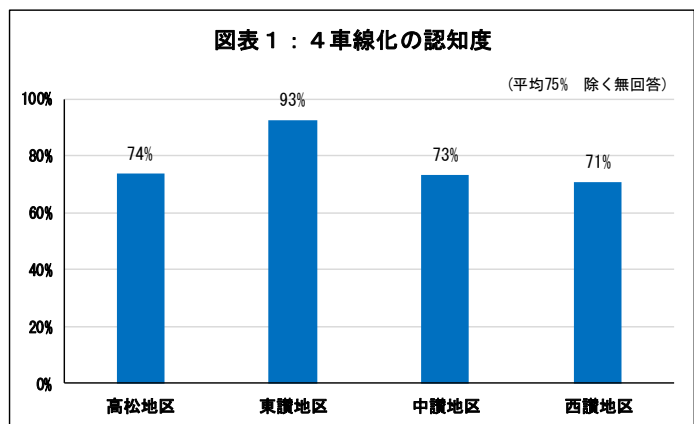
有効回答数：306 社（有効回答率 48.6%）

調査結果の概要

1. 4 車線化の認知度

県内企業から得られた回答から、全体として 4 車線化の認知度は 75% である。一方、4 車線化の完工があと 3 か月ほどの年度末に迫っているにもかかわらず、4 社に 1 社は 4 車線化の完成を知らないということを示している。

地域別に認知度をみると、高松地域 74%、東讃地域 93%、中讃地域 73%、西讃地域 71% となっており、東讃地域が突出している。今回の 4 車線化では、高松東 IC から鳴門 IC までの 51.8 km のうち大半の部分を東讃地域が占めるため、東讃地域に所在する企業の認知度は高いと想定される。



2. ビジネスでの利用頻度

本質問は 4 車線化後の高松道に対する直接的な評価として設定したもので、ビジネス上の利用頻度は「変わらない」が 85.5%、一方「増加する」1.3%、「やや増加する」13.2%を合わせた「(やや) 増加する」が 14.5%を占めている。

全体としては、「減少する」とするマイナス評価の企業はなく、14.5%の企業は 4 車線化によって利用頻度が増加すると予想し、直接的にプラスの評価をしている。

図表 2：利用頻度

利用頻度	会社数	% (除く無回答)
増加する	4	1.3%
やや増加する	40	13.2%
変わらない	259	85.5%
やや減少する	0	0%
減少する	0	0%

3. 営業圏域への影響

4車線化によって営業圏や商圈が拡大するかという質問について、87.5%の県内企業は「変わらない」と想定している。

マイナス評価の「(やや) 縮小する」が0.3%に対して、「(やや) 拡大する」とする企業は12.2%あって、全体としてプラスの評価が上回っており、県内企業は4車線化によって営業範囲の拡大を想定しているようだ。

図表3：営業圏への影響	会社数	% (除く無回答)
拡大する	1	0.3%
やや拡大する	36	11.9%
変わらない	265	87.5%
やや縮小する	1	0.3%
縮小する	0	0%

4. 県外企業との競争

県外企業との地域間競争について尋ねたところ、88.4%の県内企業が「変わらない」と答える一方、「競争が激化する」が0.3%、「やや激化する」が11.3%となっており、4車線化によって県外との物や人の交流が盛んになると見込まれることから、県内企業は新たに参入してくる県外企業との競争激化を予想しているようだ。

図表4：県外企業との競争	会社数	% (除く無回答)
競争が激化する	1	0.3%
やや激化する	34	11.3%
変わらない	267	88.4%
やや緩和する	0	0%

5. 香川県の観光客数

香川県への観光入込客数についてみると、「大きく増加する」1.3%、「増加する」62.9%、「変わらない」が35.4%、「やや減少する」0.3%となっている。全体として64.2%が「(大きく) 増加する」と予想している。背景としては、こ

こ最近、インバウンドの影響で香川県への観光客数は大きく増加していること、及び瀬戸内国際芸術祭の4月開催もあって、4車線化によって観光客数が大きく増加するとプラス評価したと想定される。

図表5：観光客数の増減	会社数	% (除く無回答)
大きく増加する	4	1.3%
増加する	190	62.9%
変わらない	107	35.4%
やや減少する	1	0.3%
大きく減少する	0	0%

6. 香川県経済への影響

4車線化による県経済への影響をみると、「好影響がある」2.6%、「やや好影響がある」62.9%、「変わらない」32.5%、「やや悪影響がある」2.0%となっている。全体として「(やや) 好影響がある」が65.5%と過半数を占めており、県内企業は4車線化による県経済への良いインパクトを予想して、プラス評価をしたと考えられる。

図表6：県経済への影響	会社数	% (除く無回答)
好影響がある	8	2.6%
やや好影響がある	190	62.9%
変わらない	98	32.5%
やや悪影響がある	6	2.0%
悪影響がある	0	0%

以上